

本年9月と11月の大雨により被害のあった福島県にて、  
白水阿弥陀堂、NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会、  
一般社団法人Tecoへの支援を行ないました

(2023.11)

一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム（代表理事：吉田 浩一郎 株式会社クラウドワークス代表取締役社長CEO、以下PEAD）は、9月の大雨で被災した福島県への視察を行ない、令和5年9月8日の大雨で床上浸水1000軒超という被害を出した福島県いわき市にて、復興を支える3つの団体に対して計250万円の寄付を行いました。

いわき市は本年9月に台風13号の影響で発生した「線状降水帯」の大雨被害により甚大な被害を受けました。

そこでPEADでは、9月30日に福島県いわき市内郷地区前田地区への視察を行い、現地の方々と支援について話し合いを持ち、11月3日にも現地を再訪し情報を収集、表題の通り支援を行いました。

いわき市では9月の大雨により1000棟を越す住宅で床上浸水の被害が発生しており、現在でも水害保険に未加入のため未だ家屋の修繕が進んでいない人や、また、1階のキッチンが使用できず2階へ在宅避難を続けている人などがおります。

内郷地区では、平安時代末期の建物として福島県唯一の国宝建造物でもある白水阿弥陀堂も浸水の被害にあっており、また、地域の公民館が被災したため住民が交流機会をなくしていたり、そもそも少子高齢化に伴い若者がほとんどいない上、水害により転居してしまう方もおり、残った地域住民の孤立なども問題となっていました。

#### <支援先3団体と、支援内容>

##### ①白水阿弥陀堂：

国宝・文化財修繕の自費負担分として

##### ② NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会：

遺児孤児の生活必需品購入支援として

##### ③一般社団法人Teco：

被災地域の炊き出しを通じた孤独防止、コミュニティ構築の支援として

###### ・炊き出し

- 本年12月より来年3月をめどに週1回100食、計15回の炊き出し
- 直接受け取り70食、個別配布30食

###### ・個別訪問+配食

- 民生委員と連携をはかりながら1回30軒程度を想定

###### ・サロン活動

- 週1回、計15回、1回あたり30名程度の利用を想定

###### ・アンケート

- 復興の現状や生活の中での困りごとを記載いただくアンケート調査

などに役立てられます。

## 視察の様子

● 9月30日 福島県いわき市内郷地区前田地区



左：前田地区の状況、被災から20日経過してもこの状況で当時の惨状が想像される  
右：氾濫した新川の様子、2019年の氾濫以降に浚渫されず今回の被害に繋がった



左：床上浸水した建物の玄関に残る水の跡を指差す吉田代表  
右：中に入ると、1階の床はまだ泥や水分が残ったままの状態



左：ふくしま震災遺児・孤児を見守る会のその他の活動、チャイルドハウスふくまる全景  
右：ふくまるの室内の様子、子供たちが自由に遊べる場所を無償提供されている



## 視察の様子

- 11月3日 福島県いわき市内郷地区、白水阿弥陀堂、NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会、一般社団法人Teco、JAいわき南農機センターを訪問  
内田いわき市長、森まさこ参議院議員から感謝と労いの言葉をいただきました



左：内田いわき市長、市議、森まさこ参議院議員などと合流、860年の歴史ある建物へ  
右：国宝や重要文化財である仏像の直下まで浸水、平安時代からの床板にも水が被った



左：被災地の孤独解消や移動困難者への食事を提供しているTecoの皆さんと  
右：被災地域でいつでも誰でも来られるサロンとして、地域コミュニティを提供している



左：育苗機が全壊のため、いわき市南部460万ヘクタールへの稲作に支障が発生している  
右：建物の地下部分にまだ残っている水の存在を確認しているところ